

板橋区議会レポート [第8号]

木田おりべの
令和7年第2回
定例会での
活動について

※詳しくは裏面をご覧ください。

- 1 常任委員会(都市建設委員会)
- 2 特別委員会(文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会)
- 3 陳情採決(政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情への賛成) など

幸せを感じる街 板橋をつくる。

自民党

きだ
木田おりべ

板橋区議会議員

都市建設委員会(副委員長)
文化芸術・多文化共生推進調査
特別委員会(委員)

防衛大卒元航空自衛官
2児の父

【私の志】

「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。」と自衛隊入隊の際に宣誓しました。今はその思いを、ご縁をいただいたここ板橋区のために誓います。自衛隊入隊は、歴史と伝統ある美しい日本を守りたいという一心からでした。そして、より大きな視点から日本のために尽くすべく、約13年間勤めた航空自衛隊を退官し、下村博文事務所の門を叩きました。現在は板橋区議会議員1期生として、皆さんからのご負託と議員の重責を胸に区議会で活動しています。航空自衛隊で培った勇猛果敢な精神で区議会に臨み、「幸せを感じる街 板橋をつくる。」それが私の志です。

木田織部 [経歴]

つよく、やさしく、まっすぐに。

- 昭和56年6月3日岩手県生まれ、岡山県瀬戸内市育ち
- 岡山城東高校卒業後、新聞奨学生を経験
- 防衛大学校人文・社会科学専攻人間文化学科卒業(第51期)
- 航空自衛隊にて約13年間勤務(3等空佐(少佐相当)で退官)弾道ミサイル防衛、防空、災害派遣、防災訓練などを担当
- 前衆議院議員下村博文秘書4年
- 家族に妻、長女(6歳)、長男(3歳)
- 好きな食べ物はラーメン、カレー
- 経験した部活動は陸上競技と短艇(カッター)
- 尊敬する人物は両親と妻
- 座右の銘「深刻な時に深刻になっても状況は好転しない」
- 防災士



Action

本年5月に起きた立川市の小学校襲撃事件を受け、事件発生の翌朝に急きょ不審者対応訓練を実施し、教職員と児童の不審者対応力向上を図った紅梅小学校の校長先生からヒアリング。児童と教職員などの安全のため、学校警備の強化を区に求めています。



外国籍の児童が多く在籍する「高島第二小学校」視察。本年4月現在、全校児童339名のうち外国籍の児童は81名で、うち日本語が話せない児童は約30名。区の施策「ことば支援員」は英語、中国語担当の方がそれぞれ1名のわずか計2名で、翻訳機も不足。この課題にも取り組みます。



区民の方から「風で大原公園の砂が家屋に飛んできて困っている。」とのご相談をいただきました。区に「砂ぼこり抑制処置をした砂」を撒いていただいたところ、砂ぼこりがたたなくなったとお声をいただきました。



フリースクール・サポート校「滝野川高等学院」さん視察。不登校児童生徒の居場所や成長の場として、進学などの各テーマに応じた学習、日常生活、進路などをサポート。通信制高校に在籍しながら、高卒資格取得、大学進学や就職を目指すコースもあり、私が理想とするフリースクール。



徳丸北野神社獅子舞奉納。三匹獅子舞で大獅子を演じました。会場に私の舞をまねて舞ったお子さんがいたそうで、嬉しい限り。



清水ファミリーデー。テーマは「清水ファミリーあふれる笑顔」。たくさんのご来場者で賑わい、区政へのご要望もいただきました。



区民の方から「水車公園横の歩道の終わりに段差があり、シルバーカーやベビーカーなどで進みにくい。」とのご相談をいただきました。区に依頼し、段差を解消していただきました。



徳丸小学校児童による「ヤゴ救出作戦」。区のプロジェクトで、学校のプールにいるヤゴに触れ、命の大切さに気づかせる目的があります。ヤゴの生育環境を作るため、昨年、荒川河川敷で刈った葦(あし)をプールに沈めていました。



放課後等デイサービス「ぬくあい」さんの月に一度の清掃活動。参加した児童から「地球はみんなのものなのに、なぜゴミをポイ捨てする人がいるのだろう?」という言葉が。





01 常任委員会(都市建設委員会)

この度、都市建設委員会に所属することとなり、副委員長を拝命しました。都市建設委員会は、都市計画、都市再開発、建築物、道路、河川、公園緑地、下水道、まちの美化、交通安全などに関する区の行政を調査する委員会です。

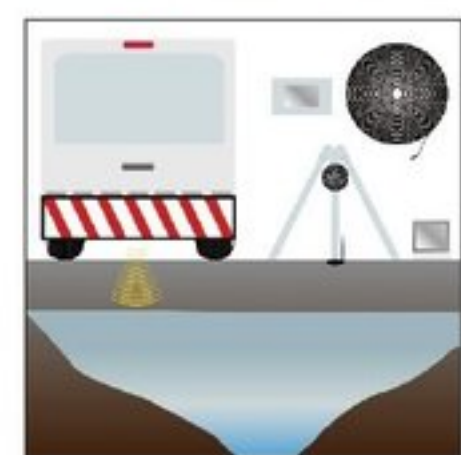
【路面下空洞調査の前倒しと空洞の早期補修に関する補正予算案に賛成】

区が維持管理する区道は総延長で約684km。板橋区はこのうち災害時に道路啓かいが必要となる道路やバス路線など、比較的幅が広く交通量が多いなどの路線を約109km定め、この道路を対象にして路面下空洞調査を令和6年度から令和8年度までの3ヵ年計画で行っていました。その中で、**本年1月に埼玉県八潮市で大規模な道路陥没が発生したことを受け、区は令和8年度分の路面下空洞調査を令和7年度中に前倒して実施することとし、そのための令和7年度の補正予算案を都市建設委員会で審査しました。区民の皆さんの安全のために必要な予算として私はこの補正予算案に賛成し、その後の本会議において可決成立しました。**

路面下空洞調査とは

地中レーダ探査装置を搭載した路面下空洞探査車などを用いて地中に電磁波を放射し、陥没の原因となる地下空洞を発見し、点検するもので、その結果をもとに陥没の危険度を分析し、緊急性に応じて順次補修します。

(イメージ図)



特別委員会(文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会) 02

文化芸術は、コロナ禍において、人々に安らぎ、勇気、希望を与えるという本質的価値が改めて認識されるとともに、**次世代へ継承していくことの重要性が明白となりました。**さらに、多文化共生分野では、区における外国人住民数は、平成27年からコロナ禍を除き8年連続の増加を記録しています。そのため、**地域における外国人の方々の共生を推進していくことの重要性は一層高まりを見せています。**

このことから、この度「文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会」が設置され、私はこの委員会に所属することとなり、**2年間の活動でこの委員会が調査すべき事項について次のとおり私から提案しました。**

「伝統文化及び文化財の次世代への継承とその発展について」

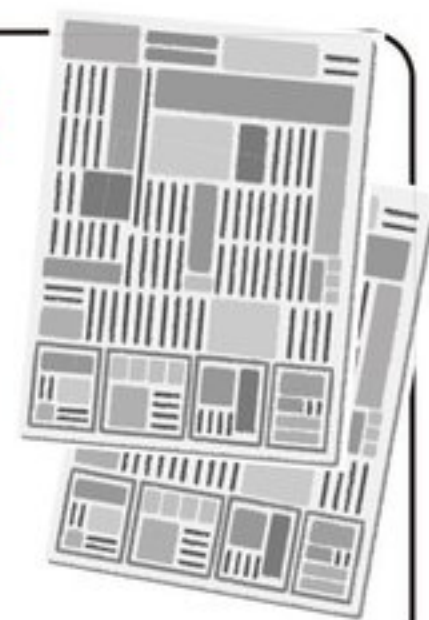
「外国籍の方々との多様な文化交流の在り方について」

また、クルド人の方々が多くお住まいで、行政などが彼らとどのような文化交流をされているのかを学ぶべく、**私から埼玉県川口市を視察先として提案しました。**



03 陳情採決(政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情への賛成)

区職員が庁舎内で議員から政党機関紙の購読を勧誘され、心理的圧力を感じたかどうかの調査などを求める陳情に私は賛成し、採択されました。議員から政党の機関紙購読を勧誘されれば、区職員は心理的圧力を感じる可能性があり、それは場合によってはパワハラにあたります。区議会では、昨年10月に「区職員及び議員に対するハラスメントに関するアンケート調査」を行いました。政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査はその行為に特化した調査であるため、**アンケートでは浮き彫りにならなかった問題の表面化を期し、この陳情に賛成しました。**



板橋区からのお知らせ

区役所などにマイボトル用のウォーターサーバーを設置

ペットボトルごみ削減の一環として、区役所、赤塚支所、徳丸地域センター、清水地域センター、まなぼーと大原などの38か所の区施設に**マイボトル用ウォーターサーバーを設置しています。**水道水を浄水フィルターでろ過して給水を行う水道直結型のもので、**マイボトルに冷水・常温水を無料で給水することができます。**

